

六甲山地での災害対策を説明

～三重砂防ボランティア協会 現地案内～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

六甲山地での砂防事業を参考とするため、三重砂防ボランティア協会の方々が六甲砂防事務所を来訪されました。六甲山地での砂防事業の特徴や平成26年台風11号による山腹崩壊について説明し、斜面对策現場などを案内しました。

概要

日時：平成27年1月23日（金）
11:30～15:00

場所：焼ヶ原えん堤
（住吉川上流）など

主催：三重砂防ボランティア協会
参加人数：9名



平成26年台風11号の
災害対策について説明

○平成26年台風11号の災害対策について説明

平成26年台風11号による六甲山地の被害について、翌日からヘリによる状況調査や



渦ヶ森地区斜面对策



グリーンベルト
渦ヶ森地区見本林

溪流調査、砂防えん堤の点検などを行い、山腹

崩壊や被害の把握に努めたことを説明しました。崩壊は約270箇所を確認しましたが、砂防えん堤によって下流への土砂の流出を防いでいた箇所があったこと、今後の崩壊の拡大に備えた応急対策、一部でワイヤーセンサーを設置したことを説明しました。



焼ヶ原えん堤

○阪神・淡路大震災から20年

20年前に起こった阪神・淡路大震災により土石流対策を行った焼ヶ原えん堤や、斜面对策の現場などを案内し、六甲山地の砂防事業が住宅のすぐ近くで行われていることを実感していただきました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

